

おうめじまん

2024 年
11 月 15 日発行

総集編

総集編をお届けします！

今回のおうめじまんは、全ワークショップのまとめとして、「**総集編**」をお届けします。あっという間の半年間でしたが、振り返ってみると盛りだくさんな内容でした。本ワークショップの開催に当たって、事務局では、「**いろんな世代の方に参加してもらいたい**」、「**文化活動&子ども関係の活動をされていない方にも幅広く参加してもらいたい**」という思いとともに準備をスタートしました。実際に公募してみると定員以上の応募があり、本プロジェクトの注目度や期待の大きさを実感した瞬間でもありました。

また、意見交換・意見聴取の場だけでなく参加者の皆さんにとって「**気づき&学びの場**」にもなるよう、2回の専門家レクチャーをご用意し**アートマネジメント**や**劇場の建築計画**について先進事例とともにご紹介しました。このワークショップが参加された皆さんにとって少しでも有意義な時間となっていたら幸いです。

最後に、参加してくださった皆さん、この度はありがとうございました。そして、おつかれさまでした！！

日程	テーマ
4月6日(土)	青梅市のまちじまん・文化じまん
5月11日(土)	新施設でやりたいこと・やってほしいこと
6月8日(土)	こんな施設・機能があったらいいな
7月6日(土)	敷地を歩いてみよう+専門家レクチャー
8月31日(土)	使いやすい施設配置を考えよう(台風により中止)
9月28日(土)	まとめ&市民参画について+専門家レクチャー



令和6年12月3日、10日開催
文化複合施設整備特別委員会
参 考 資 料 3



次のフェーズへボタンをつなげよう

計5回（中止回を除く）のワークショップを通して、参加者の皆さんから様々なご意見をいただくことが出来ました。青梅の魅力を挙げていただく中で、自然や行事など**地域資源を活かした** “**青梅らしい**” **文化拠点**が求められていることがわかりました。また、「**高校生の居場所がない!**」「**文化施設が少ない!**」など皆さんが抱える悩みや課題を率直に発言していただけたことで、**子ども&親子や若い世代が自由に過ごせるスペースや、市民の文化活動を促進する機能が必要**だということも再認識することができました。

回を重ねるごとに話し合う内容も徐々に具体的になり、「**ホールを多目的に利用したい**」という声や、「**ホールと広場を一体で利用できたらいいなあ**」という意見も集まりました。その他、「**飲食店**」や「**交流・学習スペース**」、「**スタジオ**」といった機能を求める声も挙がっていました。

最終回の市民参画に関するテーマでは、開館前から市民と文化複合施設との関わりを保つために、「**とにかく情報発信が重要**」という意見が多く挙がりました。

今回のワークショップでは、参加された皆さんが日々感じていることや文化複合施設に期待していることについて、対話をとおして直接伺うことができ、事務局にとっても実りある場となりました。今回いただいたアイデアや想いが途切れることのないよう、ボタンをつないでいきます！

参加者の声

意見総まとめは
裏面へ！

様々な年齢の方と意見
が言い合えてよかった
です。高校生が多かつ
たので若い子たちの意
見も聞けて良かったで
す。(第1回)

たくさん意見を出してみんな
で文化ホールを作りあげてい
きたいです。(第2回)

「ココで働きたいなあ」という
願望がムクムク出てきました。
(第3回)

建設予定の敷地を歩いてみて、意外と広
いのに改めて気が付きました。東青梅駅
からも徒歩1〜2分というアクセス。
市民の意見を聞いて素晴らしい施設が出
来ることを楽しみにしています。(第4回)

コンサートや舞台を観る
場所ではなく、文化の拠
点としてのあり方がある
ことを知ることができま
した。(第4回)

だんだんと形にな
っていくと実感し
て、とても楽しか
ったです。
(第6回)

参加者の意見総まとめ！

第1回「青梅市のまちじまん・文化じまん」

	まちについて	文化について
ポイント	・自然が豊か ・人があたたかい ・レトロな街並み ・運動できる場所が多い ・特色ある公園が多い ・勉強ができる図書館が多い	・青梅マラソン ・青梅大祭 ・サークル活動が盛ん ・アートフェスティバル ・豊富な食文化 ・吹奏楽が盛ん ・伝統的な織物文化 ・川合玉堂ら著名人
課題点や	・高校生の居場所がない ・滞在型の観光が苦手 ・憩いの場が少ない ・多世代交流の場が乏しい ・児童館がない ・カフェが少ない ・知名度が低い	・情報発信力が低い ・文化施設が少ない ・発表する場が足りない ・創造発信型のホールがない ・アーティスト育成の仕組みがない

第2回「新施設でやりたいこと・やってほしいこと」

	春	夏	秋	冬	通年
施設内	・新学期のお悩み相談会 ・青梅大祭にちなんだお祭り	・夏休み親子ワークショップ ・涼み処	・アート展 ・文化祭 ・織物ファッショショ	・和楽器演奏会 ・市民参加オリジナル狂言	・学校催事 ・コンサート ・ライブ ・体験教室 ・対話カフェ ・舞台技術ワークショップ
屋外広場	・お花見 ・新緑祭 ・青梅「梅まつり」	・野外フェス ・夏祭り ・花火大会の観覧スペース	・野外映画祭 ・運動会 ・アウトドアイベント	・クリスマスイベント ・イルミネーション ・餅つき大会	・マルシェ ・作品展示 ・伝統文化体験 ・保護動物譲渡会 ・天体観測

第3回「こんな施設・機能があったらいいな」

	必要な機能
施設内	・スタジオ ・防音室 ・会議室 ・和室 ・音響設備に配慮したホール ・オープンスペース ・交流スペース ・学習スペース ・談話室 ・子育て交流スペース ・カウンセリングルーム ・中高生中心の施設 ・キッズルーム ・情報コーナー ・観光案内パネル ・Wi-Fi設備 ・カフェ
屋外広場	・こどもが遊べる広場 ・若者が集まる広場 ・交流と憩いの場 ・涼める広場 ・ベンチ ・ミストシャワー ・マルシェコーナー ・イルミネーション ・屋外ステージ ・広場で食事 ・お年寄り、障がい者に優しいアプローチ ・プロジェクションマッピング

第4回「敷地を歩いてみよう」

皆さんと一緒に敷地を実際に歩き、スケール感や敷地から見える眺望について確認しました。

- ・敷地が思っていたよりも駅と近かったので一体的な開発が期待できた。
- ・駅からの人流と東西に走る車の流れをどう整理するかが鍵だと思います。

※なんでもアンケートより

第5回「使いやすい施設配置を考えよう」

第5回当日は台風により中止となりましたが4パターンのブロック模型を用意し、第6回ワークショップにて模型に触れながら話し合いました。

第6回「まとめ&市民参画について」

計画中～建設工事中	運営開始後
・PR活動 ・SNSを活用した情報発信 ・「市民協力会議」の設立 ・市民ワークショップ ・市民へ定期的に情報共有 ・意見交換会 ・仮囲いアート ・現場見学会 ・施設のキャラクター公募 ・プレイベント企画の公募	・市民サポーター育成 ・友の会の設立 ・市民文化祭実行委員会 ・運営についてのオープン会議 ・高校生中心のSNS発信チーム ・NPO法人の設立（運営のサポート） ・サポートスタッフ養成 ・イベントの企画

専門家レクチャー



古橋氏による講演会では、「芸術を自由に表現できる環境を整える」「芸術と感動を社会に届ける、芸術で社会をつなぐ」役割をもつアートマネジメントの視点から、劇場と人との関わりについてレクチャーしていただきました。「劇場」は「人」が作り、「劇場」が「人」を作るという関係を、事例をもとにご説明いただき、「居場所（Place）」としての劇場のあり方を学びました。
文化複合施設も、誰のための施設なのかを丁寧に考えていくことが重要だと、気が引き締まる時間となりました！

第6回

（株）シアターワークショップ代表の伊東による講演では、台風により中止となっていた第5回に実施予定であったブロック模型の解説を行いました。敷地のどのあたりにどのような機能を配置すると良いのか、配置パターンを4つ取り上げその特徴を説明し、劇場計画について具体的に考えるヒントとなるようなレクチャーとなりました。
先進事例も取り上げ解説したことで、実際にどのように施設が使われるのかイメージもより明確になったかと思います。

